

こども通信

塚田こども医院

小児科・アレルギー科

 上越市栄町 2-2-25
 TEL 025-544-7777(代)
 025-544-7779(保育室)
 FAX 025-544-8456

 各種ネット予約
www.0255447777.com/i
 ホームページ
www.kodomo-iin.com

先月、今年の夏はさほど暑くない
 ようだと思っていました。梅雨
 明けと同時に猛暑に。体がついてい
 きません。

子どもたちは夏休みに楽しいこと
 がたくさんできるといいですね。熱
 中症や事故に十分気をつけて、暑い
 夏を乗り切ってください。

* * *

参議院議員の選挙が
 終わりました。現政権
 に対する信任、あるいは不信任が問われ、ま
 たこれからの日本の政
 治や経済をどう進めていくかが決め
 られる選挙でした。

その結果は別として、気になる
 のは投票率です。全国の平均は48・
 80%と半数以下。さらに18歳と19歳
 の投票率は31・33%と、3人に1人
 も投票していませんでした。この数



字を見て、しばし言葉を失ってしま
 いました。
 政治に不満はないの？ 何か思う
 ところはないの？ 自分の意思を政
 治に伝えたいと思わないの？

投票する人物や政党がないからと
 という理由もよく聞かれますが、ベス
 トはないでしょうか。でもより自分
 に近い考えがあるはないか。

投票しなければ結果と
 してそれは全体の投票傾
 向を追認することになり
 ます。「棄権は危険！」と
 思っているのですが、ど
 うでしょうか。

かつては男女の差別があり、貧富
 の差で投票できない時代がありまし
 た。私たちの先人はそうとうの苦労
 を重ねて、国民の全てが平等に投票
 する権利を獲得しました。それが民
 主主義の基礎になっています。

投票率が半数以下と
 という事態は、とても近
 代国家とはいえないの
 ではないか。そんな危
 惧をいじめてしまいま
 した。
 こんな心配をするの
 は、私が歳をとったか
 らなのか。でも、やっ
 ぱり何とかしなくちゃ
 という気持ちです。

感染症情報

全国的に手足口病が大きな流行になり、警報が出されています。上
 越地域は全国にやや遅れて流行がはじまりましたが、今は発生数も増
 大。やはり大きな流行になりました。通常、手足口病は皮膚や口の中
 にブツブツがでますが、熱が出ることも少なく、登園停止にならずに
 すむことがおおいです。

もう一つの夏かぜのヘルパンギーナは高熱になり、さらに喉や口の
 奥にブツブツができて、飲食がとりにくくなり、数日は休む必要があり
 ます。今シーズンは、ヘルパンギーナの症状に加えて、手足口病様
 の皮膚のブツブツもでるものがはやっていて、どちらの病名を使うべ
 きか、迷うことが多いです。

感染性胃腸炎の発生も続いています。夏場は食中毒による胃腸炎も
 発生しやすく、食品の衛生管理にもご注意ください。

りんご病（伝染性紅斑）の発生は少数になってきました。

RSウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症が多数発生
 しています。いずれも発熱し、咳が強くなります。乳児がかかると喘
 息のような呼吸困難が生じることがあります。注意して下さい。

溶連菌感染症やアデノウイルス性咽頭炎も発生しています。いずれ
 も熱と喉の痛みが特徴です。

風疹や麻疹の発生は当地ではありませんが、全国的には発生があり
 ます。いずれもワクチン接種で確実に予防できる感染症です。

休診のお知らせ

- 8月10日(土)、17日(土)は休診にさせていただきます。
- わたぼうし病児保育室も医院といっしょにお休みです。よろしくお願いします。

今月の予定

院長出務

上越市乳幼児健診 21、28日

上越有線放送 「健康ライフ」 20日

FM上越 「Dr. ジローのこども健康相談」

毎週木曜午後1:20頃～(76.1MHz)

感染症情報(毎週)

FM上越: 木曜午後1:35頃～

上越有線放送: 月曜午後6時～(番組内)

たかが虫刺され・・・

夏と言えばキンチョウ・そんなCMが思いだされるように、蚊の季節です。昔ほどではありませんが、今でも蚊の対策が必須ですね。

個人的には、最近は蚊に刺されてもほとんど腫れません。多少の痒みがあるものの、数時間後には跡も残さず消えています。どうも人間が枯れてきているようです(笑)。それにあんまり寄りつかなくなっている。もつと進んで嫌われるようになりたいものと思っています。

でも、子どもたちはそうではないですよ。刺されやすいし、腫れやすい。蚊も、若い人の方が美味しいと知っているのでしょう。

●蚊は子どもが好物

蚊は二酸化炭素の濃度や体温が高いことに反応します。さらに臭いに敏感。汗臭いのが好き。いずれも子どもたちの皮膚がそうです。大人よりも子どもが刺されやすいのはちゃんと訳がありました。

蚊に刺されると、蚊の唾液(中に抗凝固物質が入っています)が体内に入り、それに対して免疫応答の反応が生じて炎症が起きます。これが腫れる理由です。この反応も、子どもは激しく起きてきます。

治療は刺された所に副腎皮質ホルモン(外用剤)を使います。赤みや腫れ、痒みが強い場合には内服も必要(抗ヒスタミン剤や、ある漢方薬)。冷やすことも大切です。

夏場は二次的に**膿痂疹**(とびひ)になることがあり、皮膚をきれいに洗っておく必要があります。もし膿痂疹になってしまったら、抗菌薬による治療が必要です。小児科や皮膚科を受診して下さい。

腫れがなかなかひかない、跡がいつまでも残る・・・そういったこともよく経験します。さらに皮膚の反応がとても強くて、水疱ができたり、周囲に広く発赤ができる。発熱することもあります。

これは「**ストロフルス**」と呼んでいます。とても強い過敏反応が起きています。先にお話した薬を、夏場は継続して使用して対応します。

でも、最も大切なことは蚊に刺されないことです。皮膚を清潔にする(外出する前にシャワー)、手足を露出しない、必要に応じて虫除けスプレーを使ったり、蚊取り線香などを携行するようにしましょう。

●蚊が媒介する感染症

蚊が他の生物の病原微生物を人間に「運搬」することがあります。

日本脳炎はその一つ。予防接種によつて今では日本国内での発症は少なくなりませんが、東南アジアではまだ多数の発生があります。

ジカ熱、**マラリア**なども蚊が媒介する感染症です。他にダニが媒介する**ツツガムシ病**は新潟県でも毎年発生があります。

たかが虫刺されと思わず、しっかりと刺されない対策を取って下さい。

経験的漢方論 (7)

胃の痛みに六君子湯

このところ「**大建中湯**」の話題を書いてきました。自分で試してみて、腸のトラブルに効果のある漢方だと実感しています。今日は同じお腹でも、胃(上腹部)のトラブルに効果のある「**六君子湯**」の話です。

私には**胃食道逆流症**という持病があります(いろんな病気を持っていて、やっかいなヤツです)。胃の内容物が食道に逆流するというもの。胃液はとても強い酸ですが、それが食道粘膜を傷つけることで、強い痛みが生じます。胃が痛いと書きましたが、正確には食道下部の痛みです。毎日ある訳ではありませんが、時々痛みに見舞われます。

以前は胃酸を抑える薬(ガスターなど)を、発作時に飲んでいました。効果はあるのですが、なかなか治りきらず、すっきりはしていませんでした。

内視鏡で確かめてもらい、一定の期間、この現象を抑える治療も受けたこともありますが、その後はまた時々発症していました。

ある時、赤ちゃんの吐きぐせ(胃食道逆流症の症状)に「**六君子湯**」を使つてとても効果があることを思い出し、自分にも使つたらいいんじゃないかと準備していたら・・・その時がやってきたとき、六君子湯を1包内服。たちまち(数秒です!)胃の痛みが無くなりました。

それはそれは見事なほどの効果で、自分でもビックリです。**西洋薬より速効性があり、さらにスッキリと完全なまでに痛みが消失する**。これはすごい。漢方はバカにできないと、改めて実感した次第です。

それ以来、診察室の引き出しには、この**六君子湯**は**常備薬**となっています。